

あきしま市

自治連会報

■発行者
宮田 次朗

■編集
昭島市自治会連合会
広報委員会

昭島市田中町1-17-1
昭島市役所内
TEL 544-5111

1.1

平成29年
(2017年)

ご きん じょ
互近助 づきあいを始めよう！

迎春



平成28年度・自治会長交流会 於：フォレスト・イン昭和館

年頭に当たって



昭島市自治会連合会
会長 宮田 次朗

明けましておめでとうございます。
本年が皆様にとってより良い年であることを祈念してご挨拶申し上げます。

自治会は現在、地域住民が安全・安心で快適に生活ができるよう近隣の皆様と、防災とコミュニティ活動の促進を図り、行政機関とのパイプ役を果たしています。

6年前の東日本大震災以降、大きく地域防災が取り上げられ、自治会としても昭島市と協働で、自主防災組織の組織力向上、スタンドパイプの設置と訓練、救命講習、防災研修会を行い、昨年4月には小中学校別に「学校避難所運営委員会」がスタートしました。

ここ数年、全国で震度5弱以上は10回前後でしたが、昨年は32回あり、東京でも30年以内にM7クラスの発生確率が70%と言われており、震災に対し

て各家庭で、自助の備えをしていただき、次に近助・共助の「互近助づきあい」を始めましょう。

地域の結びつきが見直される一方、少子高齢化と小規模世帯の急増等で、自治会員の加入率低下と役員の担い手不足が課題となってきています。

“会員としての目に見えるメリットを”との要望に答え、都の助成金を活用しながら、2年前から自治会会員証「ごきんじょ(互近助)カード」を使つての特典制度を開始しました。消防署と連携して、いざの時のための「わが家の安心伝言板」をお届けしました。

本年春に改正された「個人情報保護法」が施行され、自治会も対応が必要となります。今後とも自治会員の皆様の声を大切にし、昭島市を始め各種団体と連携をとりながら、協働の対話を展開してまいりますので、本年も自治会活動へのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。



会員特典付の

ごきんじょカードを活用!



- 市内の自治会会員証として「ごきんじょ(互近助)カード」を各家庭に1枚お届けしました。カードをお持ちですか?無い方は各自治会で再発行できますので、役員にお聞きください。
- 新規協力店の紹介や問い合わせ…TEL070-1248-6075
- 現在92の協力店のご厚意で会員特典は実施出来ています。

くごきんじょ(互近助)カードを協力店で提示した際の“お得”事例>

- 昭島市民会館文化事業協会主催の昭島寄席「新春初笑い」公民館窓口にて夫婦で600円割引!
- 国営昭和記念公園『レインボープール』では、小中学生3人と夫婦の5人家族で、1700円割引!
- 『フォレスト・イン昭和館』で年末年始以外だと宿泊料金が20%引き!
- 『パレスホテル立川』のレストラン、バーの料理・飲料10%引き。コーヒー1杯でも割引!
- 『トヨタレンタカー昭島駅前店』10%引き。『ニッポンレンタカー昭島営業所』特別価格対応!

※各協力店の特典内容は、『協力店一覧・第3版』(ピンク色)をご覧ください、ご利用下さい。



●●● 平成28年度「自治会長交流会」開催 ●●●

12月3日(土)10時から市内の自治会長が参加して交流会を昭和館にて、臼井新昭島市長をはじめ多くの来賓の皆様に参加いただき開催しました。参加者全員で中庭にて記念撮影(表紙)をしました。

第一部は1階の専用会議場「テアトロソシエ」にて、早川修副市長の挨拶後、2つの自治会から活動報告がありました。

始めに、「新人会長奮闘記」と題し中神駅前親交自治会の角田会長から、退会を考えていたある日会長を引き受けざるを得なくなり、今では会員に支えられ各種活動が楽しくなり積極的に取り組んでいるとの報告。次に「笑顔を忘れずさりげない日常会話をかけあい交流を深めていく」が自治会テーマの、松原自治会の江原会長からは、16号線沿線の日ごろの地域の環境改善対応の紹介があり、新規戸建て世帯を役員でチームを作り訪問活動を実施し、会員増に繋がったことの報告がありました。

また、昨年4月からスタートした21校の「学校避難所運営委員会」の現況報告。次に自治会へのアンケート調査の結果報告があり、行政との「まちづくりミーティング」の課題テーマとして、また今後の自治連の取り組みに活かしていく旨の話がありました。

第一部の最後として、春から施行予定の「個人情報保護法」の改正に伴う自治会の対応について、東京都生活文化局情報公開課の日置氏を迎え学びました。

第二部は会場を移し、臼井伸介市長(右写真)から挨拶を頂きその後、和やかに市内の自治会長同士、お互いの日ごろの活動について意見交換をしました。

交流会の中で、平成28年度優秀自治会の表彰を実施し、副賞として昭島観光まちづくり協会作成の「あきしまの四季カレンダー」等が贈呈されました。



①自治会活動[会員増強]に成果を上げた自治会

拝島団地中央連自治会・中宿自治会・松原自治会・つつじが丘西自治会・上町自治会・宮沢町自治会・八清親和会・昭島駅前上友自治会

②自治会ブログを活用し積極的に情報を発信した自治会

福島第二自治会・中神駅前親交自治会・上向自治会・日の出自治会・郷地第三自治会・むさしの自治会の皆さん、おめでとうございます!

清泉・多摩辺・福島中エリア別ミーティング開催

地域の課題を行政と話し合う場「エリア別ミーティング」が、今年度は次の3中学校エリアで開催されました。行政側は市長、副市長、教育長、課題担当の部課長が、自治会側は自治連三役、課題を提出したブロック長、自治会長が出席しました。以下に地域の課題とそれに対する行政側の回答の要旨をお知らせします。地域課題のご提案は、ブロック長か自治会長にお伝えください。

■7/6清泉中エリア別ミーティング

1. ゴミのポイ捨て対策▶広報や市のイベントをとおして不法投棄防止の意識強化徹底を図る
2. JR青梅線中神駅東側踏切存続危惧
▶市は踏切を閉鎖するとの認識はない
3. 多摩川の堤防上通路の安全対策
▶自転車利用者への注意喚起看板を設置できるものか河川管理者と調整する
4. 諏訪松中通り（レナウン街道）渋滞対策
▶渋滞緩和対策を関係機関と協議する
5. JR八高線の上川原三丁目梨木踏切の今後
▶引き続き関係機関と協議する
6. 中神駅前南口西側線路沿いに防犯カメラ設置
▶中神駅自由通路の東西の階段のカメラで駅前交差点を含め見守っている
7. 自治会防災備品等の保管場所確保の要請
▶学校や公園に設置することは困難であるので補助金の活用を検討してほしい
8. 自治会活動の財政的援助▶補助金増額は困難であるが今後も自治会活動に対する効果的な補助事業を実施できないか検討する



■7/13多摩辺中エリア別ミーティング

1. 拝島公園プール廃止後の敷地利用計画
▶現時点では未定。具体的な計画は地元の方々の意見を伺いながら進める
2. 市立拝島第四小学校統合後の利用計画▶同上
3. 都営拝島町三丁目アパートに防災倉庫の設置及びやまのかみ会館、拝島町高齢者福祉センターの鍵▶防災倉庫は都や関係部署と協議が必要、

- 今後調整する。鍵はいずれの施設も市の災害対策本部が必要に応じて開設する避難所であるため事前に鍵を渡すことは考えていない
4. 多摩川遊歩道・サイクリングロードの安全対策及び道路環境整備▶安全対策は前掲 道路環境整備については堤防築堤工事の際は歩行者・自転車の分離通行を図るよう河川管理者に働きかける
5. 大神町四丁目・田中町二丁目（一部）・三丁目・四丁目地域に市立会館の建設を希望▶市立会館建設計画は武蔵野会館開設で完了した。今後は現在策定中の公共施設等総合管理計画のなかで市全域の公共施設について検討する



■7/20福島中エリア別ミーティング

1. 災害時要援護者リスト▶本人、家族の申請で作成し防災関係機関に周知。先ず自らの命を守る行動をとり登録者に可能な支援をお願いしたい
2. 夏祭りの道路許可申請費
▶現状は、地域の夏祭りの減免はできない
3. 昭島団地自治会の「滝ノ下通り」の防犯と不法投棄の問題▶器具不良となった街路灯については、LED化を図り通りを明るくする
4. 玉川自治会地域の雨水溢水問題
▶クリーンセンター跡地に大型雨水浸透施設設置を計画している
5. 福島町3丁目付近多摩川堤防道路に街灯がなく夜間暗く危険▶どのような対応が可能か河川管理者及び周辺自治体と協議する

以上

～「自治会活動」紹介～

ブロックや単一自治会の活動状況や成功事例、運動会の模様などを写真とともに投稿いただいた内容をご紹介します。

現在、昭島には99の自治会が“地域住民が快適に生活できるように活動しています。



第2ブロック 福島第一自治会～福島第五自治会

市防災課指導により自治連第2ブロック(福島連合自治会)の「防災マニュアル」が平成28年2月完成しました。これを機に防災マップをもとに自治会毎に“防災街歩き”を実施しました。

そこで①一時集合場所・一時避難所・避難所それぞれの場所と経路
②消火器・消火栓・防火水槽・救助道具倉庫・AED・公衆電話機などの設置場所
③急傾斜地など危険個所の有無等を確認しました。

当日参加されなかった皆さまから、これら防災施設や防災設備の場所が分からないとお話をよくお聞きします。地域のすべてのご家庭にお届けしてありますマニュアルを是非いま一度ご確認ください。



第3ブロック 八清親和会

10月30日(日)第50回第3ブロック運動会が、開会式に臼井伸介新市長をお迎えして行われました。八清親和会の自治会活動の活性化と、行事参加率向上の取り組み3ヶ年目を迎えた昨年は、153名と過去最高の参加者でした。

今回は従来の競技種目から、3つの競技を入替え行いました。その1つが「宅配便競走」です。小学生の低学年走者が、途中にある集配場で、「配達票」と「受取票」の付いた空ダンボールの宅配物を取り、宅配物に書かれた本部近くの受取人を探し、宅配物を渡して「受取票」にサインをもらいゴールする競技です。この競技のポイントは、小さい宅配物で速い走者が速くゴールできるものではなく、小・中宅配物と、受取人の探し出し、フルネームで



書く受取人サインの速さなどが工夫されて、面白い競技になりました。

八清地域の「安全」「安心」、そして「住んで良かった町」を目指し、自主的に始めた月2回(第1・第3土曜日、午後9時～10時)の青年部防災パトロールも、今年で10年を迎えました。八清地域全域を隅々まで回ると、歩行距離4.5キロになります。これを毎回1時間かけて回り防災活動を行っています。

これからも地域の皆様の『ご苦労さま』の感謝の言葉に支えられ続けていきます。





第7ブロック 宮沢町自治会・大神町自治会・東ノ岡自治会

10月9日(日)朝のうちには空も明るく成隣小学校の校庭での運動会を準備していましたが、時間が過ぎるほどに雨がひどくなり止む無く体育館で行いました。

室内ということでマラソンをはじめ幾つかの競技は中止しましたが、体育館内での運動会は参加者全員が和気あいあいの中にも白熱したゲームを楽しむことができました。

賞品は地元生産者のご協力により新鮮で美味しい野菜をはじめ卵、鉢花等が用意され参加者の皆さまに大変喜んでいただきました。体育館での運動会もなかなかのものでした。



第8ブロック 上の原自治会

第8・9・13ブロック合同運動会は3か月前から準備。10月9日(日)は雨のため当日は光華小学校体育館をいっぱいを使い行われました。上の原自治会は、用具係を担当しました。

ハイライトは、130人が競う「防災障害物レース」で、防災ベスト・ヘルメットを着用、障害物を乗り越え最終コーナーで2種類の「非常食品」を確保してゴール。

運動会のフィナーレが最高に盛り上がり競技と共に“親睦と交流”を深めました。



第9ブロック 昭島駅前上友自治会

上友自治会には防犯部や防災部などの7つの専門部があり、それぞれ年間計画を立て活動を進めています。

防犯部の担当は夜間パトロール(写真)と、他にブロック合同運動会開催時の賞品係を担当しています。子供さんからお年寄りまで幅広い参加者を想定して、すべての参加者に賞品や参加賞が行き渡るようにメンバーで慎重に検討し準備します。

その結果、グラウンドに足を運んでくれた全員がお土産を手にすることができ、年々参加者が増えています。



第13ブロック みまつ自治会

私たちの自治会は都営ですので共益費を集めるため、250軒全世帯が自治会に加入しています。

第三日曜日は敷地内の清掃日です。団地は顔を合わせることが少ないので、普段会えない方も清掃日には参加することでとても良いコミュニケーションが取れます。

欠席の方は500円いただきます。そのお金で1年に一度、庭の低木層の刈り込みと草刈りを業者をお願いしています。

団地の回りを通る方に「いつも綺麗ですね」と云われるととてもうれしいです。これからの自治会は高齢者と若い方との程よいお付き合いのできる自治会を目指して、レッツゴー！





第14ブロック 拝島団地中央連合自治会

10棟1,250世帯の拝島団地恒例の運動会。賞品やお弁当数の把握のため申込締切が早くて心苦しいのですが、少しでも喜んでもらえるよう種目と等賞ごとに参加者の年代を考えて賞品を選びます。10時の開会式から昼食のお弁当をはさんで午後の部まで11種目。フリー参加OKの種目を含め、幼児から高齢の方までが何回か出場して、秋の一日を和気あいあいと過ごします。競うというよりお楽しみの中で親睦と交流に主眼を置いた、真剣な競技の中にも笑顔の絶えない運動会です。

第15ブロック 昭文自治会・むさしの自治会・文化自治会・日の出自治会・メゾン自治会



第15ブロックは、8つの自治会で構成されていますが、そのうち5つの自治会が8月に同じ日程で「夏祭り」を開催し、それぞれの地域でお御輿を出しています。2日目の日曜日はこの各自治会のお御輿5基が勢ぞろいして合同巡行を行います。この合同巡行は、平成7年から始まり、20年以上続いています。コースは、毎年幹事役の自治会が決定します。平成28年は、昭文自治会が幹事役となり、中神駅北口から昭文自治会のお祭り会場まで巡行を行いました。



第17ブロック つつじが丘東自治会

つつじが丘東自治会では、毎月第1日曜日及び第3土曜日に資源回収整理作業を役員と会員の協力のもとに行っています。

自治会費を会員から徴収していない当自治会は、この資源回収で市から得られる奨励金が活動を支える大切な原資となっています。次代を担う子供達にもこの活動を理解してもらうため、年2回「資源回収勉強会」として一緒に作業を手伝ってもらっています。11年連続で平成28年度も「資源回収奨励金優良団体」として表彰されました。

■東京都の助成金を活用！

単一自治会では、20～30万円、ブロックは100万円、自治連は200万円の助成金「地域の底力再生事業助成」制度があります。自治連は29年度も予定しています。

※自治会としても是非、活用しましょう※

■個人情報保護法の対応！

今春から改正の「個人情報保護法」が施行される予定です。今後は自治会にも適用されます。その為に各自治会として個人情報の取得・利用・保管等の取扱いのルールを定める必要があり、学習し準備しています。



第17ブロック つつじが丘西自治会

つつじが丘西自治会では今年で十年目となる『安心ネット』事業の維持・拡大の推進母体である「ニコニコ茶話会」のサロン活動を進めています。安心ネット事業としては資源回収時の見守り等を継続しています。「ニコニコ茶話会」の活動は年間スケジュールによって、毎月昼食会や映画会、防災と防犯講習会、高齢者の健康管理などの勉強会も実施しています。

今年は新しいテーマ『防災用品の充実と普及』にも取り組んでおり、会員からも愛される自治会のサロン活動にしております。



第18ブロック 西武拝島ハイツ自治会

8月21日・22日に夏祭りを開催しました。初日はあいにくの雨模様、回復を願いながら準備を継続し午後4時スタート。

雨の中、5歳の子供を含む「ジョイソーラン」の熱気が天に通じたか、翌日は晴天。「子供みこし」も練り歩くなど会場はにぎやかな歓声に包まれました。

今年から自治会役員選出を「輪番制」とし危惧もありましたが、懇切丁寧なマニュアルと経験豊かなレジェンド達の手助けもあり、夏の夜を存分に堪能しました。



第19ブロック つつじが丘北自治会

つつじが丘北自治会は、つつじが丘2丁目を主なエリアとし、11階建14棟(12号棟～25号棟)1397世帯、約3300人の自治会です。建物や共有部の維持管理等を行う管理組合と連携し、防災や各種行事の推進、資源回収によるゴミ減量等に取り組んでいます。

特に防災活動は、災害発生時「死者ゼロ」を目指して各棟に防災隣組(互近助ネット北)組織と、誰でも利用できる防災倉庫を各棟に設置し、発災時に全世帯の安否確認を中心に訓練を実施

しています。平成28年度の東京消防庁主催の『第13回地域の防火防災功労賞』で最優秀賞(消防総監賞)を受賞しました。

今後の課題は「高齢化(現在の高齢化率約36%)と増加する一人暮らしの方への取組み」です。



第20ブロック プレイシア自治会

プレイシア自治会では、平成28年9月24日に防災訓練を行いました。プレイシアに住む瑞雲中学生全員と各階委員、防災グループ長を中心に安否確認訓練・初期消火訓練などを実施しました。

特に、女性や中学生に発電機起動訓練の体験や、消火器を使い、そのパワーを

体感してもらいました。訓練に合わせて「プレイシア・防災マニュアル」を作成し全戸配布しました。災害は「待ったなし」です。その時に慌てないように、住人ひとりひとりの意識を高めていきたいと思ひます。



「互近助づきあい」を始めよう！



「防災講演会」を実施 講師:山村武彦氏

平成28年7月10日、自治会長研修会で防災アドバイザーの山村武彦氏をお迎えし、防災講演会を実施しました。4月の熊本の震災を中心に“今何をしなければいけないか”の貴重な講演会となりました。主な内容を紹介いたします。

- “何のために災害に備えるのか？”は、失ったら取り返しの付かない「命と時間」のためです。人が死なないこと、死なせないことです。命より大切なものはない。
- 自治会会員の意識を上げることです。役員だけが高くても会員の意識が低ければ、その地域は犠牲者が多く出ます。
- 役所も被災する。行政だって被災者になってしまうのです。

だから自分たちの地域は自分たちで守るしかないので。自分や家族を守れるのは自分なのです。**わが家の安全ゾーンを作る。**安全ゾーンというのは転倒落下物の少ない、閉じ込められない場所です。小さな揺れでも緊急地震速報で、直ちに安全ゾーンに移動するということが大事です。

● 普段から小さな揺れや緊急地震速報は、防災訓練開始の合図。地震の時にどうしますか？とお聞きすると「私は火を消しますよ、ドア開けますよ」と言うのですが、大抵の人は「おお、地震だぞ」と言っているだけで何もしない。**大揺れになったら逃げられない。**歩くことも立つこともできない可能性がある。地震の小さな揺れを感じたり、緊急地震速報を見たり聞いたりしたら、直ちに防災訓練開始の合図と思って、安全ゾーンに移動する／目の前に火があったら火を消す／その場に居合わせた命を守る退避行動／状況に合わせた行動選択訓練が欠かせないので。命を守る訓練をぜひやってほしい。落下物や転倒物で人がけがしたり死んだりしますから、**家の中の耐震化(家具転倒移動対策)を徹底的にすることです。「命捨てるな、もの捨てる！」**です。…… まずは、自分や家族の命は、自分で守りましょう！



自治連役員で“昭島市内の企業・施設”の視察研修会を実施

平成28年10月26日に自治連役員と事務局26名で昭島市内の企業、施設を6箇所視察しました。

始めに、つつじが丘1丁目の1978年設立の「**㈱三井造船昭島研究所**」で長さ220mの大水槽や風洞等の施設を駆使し船舶・海洋機器の推進・運動性能に関する設計・研究開発の拠点でした。

次に武蔵野2丁目の平成28年2月から稼働開始の「**国分西東京総合センター**」は首都圏西部エリアをカバーする常温・冷蔵・冷凍対応の物流拠点ですばらしい施設でした。3番目の東町2丁目の「**昭島市学校給食共同調理場**」は、市内の中学生1,700食、小学生3,800食分を担当。中学生の給食820kcalを試食しましたが、昭島市内の野菜を多く使っていて美味しかったです。



午後から、昭和の森の北側にある**幼保連携型認定子ども園「イコロ昭和の森」**幼稚園機能と保育所機能の両方を合わせ持つ昭島初の子どもたちが元気に遊び学べる子ども園でした。隣接の**特別養護老人ホーム「ハビネス昭和の森」**は昭島市初の全室120個室ユニット型の特別養護老人ホームで他に地域包括支援センターや地域交流スペースなども併設されていました。今回の研修会では、研究所や物流拠点が昭島に立地した理由や新施設誕生までのご苦労話をお聞きすることが出来ました。あらためて“昭島の良さ”を再認識することが出来ました。

- 東日本大震災の前に開始し6年、自治連として発信630回、各自治会分を足すと投稿総数1,500回を超えています。50周年記念誌や自治連会報、自治連だより、総会資料など最近のものも閲覧できます。
- 自治連の活動やお知らせを随時発信しています。
- 皆様の自治会のブログも用意されており、各自治会の活動状況を掲載することができます。

自治連のホームページで情報発信中！



<http://www.akishima-jichiren.jp/>